

20 ヒメウ

(カツオドリ目)

兵庫県ランク:B

Phalacrocorax pelagicus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:EN(絶滅危惧 I B類)

種の概要

北海道、本州北部では旅鳥、本州中部・南西部、四国、九州では冬鳥とされるが、本州北部では一部繁殖するところがある。兵庫県では主に11-翌5月に見られる。海上や岩礁、沿岸に生息し、潜水して主に魚類を捕食する。重油や化学物質の流出による被害で、海上や沿岸の群れが大きな打撃を受けることがある。

国内分布

北海道、天売島、モユルリ島、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、宮古島、与那国島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(姫路市)、(明石市)、(洲本市)、豊岡市、(加古川市)、南あわじ市、香美町、(新温泉町)

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては数10羽から50羽前後の群れが普通に記録されていた。近年は数羽の記録がほとんどであるが、淡路島南端の沼島ではウミウとともに集団越冬する大きな群れが見られる。

保護上の留意点

本種の生息環境である海岸の保全が必要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。



写真提供:出口敦司



写真提供:出口敦司



写真提供:金高博